



須坂市立小山小学校だより

# 栃の子だより

平成 26 年 3 月 19 日

文責：寺島 寿一

## 6年生のみなさん ご卒業 おめでとうございます

本日、80名の卒業生が小山小学校を巣立っていきました。4月からは、それぞれの地で中学校生活が始まります。小学校で学んだことを生かして、楽しい学校生活を自分たちの力で作り、心も体も一層たくましく成長して行ってほしいと願っています。

思春期まっただ中を走り抜けていく子どもたち、自立に向けての成長が順調にいけますように保護者の皆様の支えをよろしくお願ひします。子ども任せにしたり、子どものいうことに振り回されたりして、思わぬことになったりすることがよくあります。「少しの飢えと寒さが、子育ての極意」と説いた人もいます。子どもとつかず離れずの関係で、相談役も果たしながら、時には人生の先輩として叱咤激励をしてください。失敗や悩みがあり、それを乗り越える営みの中で自分の進むべき道を探っていくのが、これからの生活です。

一人一人の卒業生が勇気を持ち、目標に向かって挑戦していくことを期待しています。



【6年生を送る会】

3月7日(金)に、6年生を送る会が行われました。在校生からは、感謝の思いを歌や組体操、「ありがとう」の言葉などで体育館が温かく包まれました。そして、6年生からは、「Smile」のお返しがあり、最後は在校生が作ってくれたアーチをくぐって退場していきました。



【6年生による謝恩会】

3月12日(水)15時15分より視聴覚室で、6年生による先生方に対する謝恩会が行われました。

心のコもった「ありがとう」の歌と呼びかけ、お礼の手紙をお世話になった先生方に手渡し、最後は「仰げば尊し」の歌声で、先生方を見送ってくれました。



【さよならコンサート】

3月15日(土)に、小山小合唱団の「さよならコンサート」が行われました。6年生のメンバー9名にとっては、最後のステージでした。「練習は大変だった」という思い出とともに、これまで一緒に頑張ってきた仲間や支えてくださったすべての方に対する感謝の思いにあふれていました。

転任される先生方…大変お世話になりました。ありがとうございました。

職種	名前(敬称略)	担任等	在籍	転出先
教頭	千葉 節子		3年間	長野市立真島小学校へ
教諭	高野 弘子	2年東組担任	6年間	須坂市立豊洲小学校へ
教諭	倉田 みゆき	4年東組担任	3年間	長野市立昭和小学校へ
教諭	中村 新治	6年中組担任	3年間	北信教育事務所生涯学習課へ
学習習慣形成	菊池 博子	2年生担当	2年間	須坂市立森上小学校へ
養護教諭	宮本 由美		5年間	中野市立平野小学校へ
事務専門幹	山崎 住夫		3年間	長野市立大豆島小学校へ
栄養士	西澤 明美		2年間	小布施町立小布施中学校へ

### 3 学期 終業式 (平成 26 年 3 月 18 日)のお話

今日は、3 学期の終業式です。平成 25 年度の学校での勉強は、今日で終わりです。去年の 4 月から今日まで、授業以外にも生活のきまりや友達関係などたくさんのことを学んで、心も体も成長し、明日は 6 年生が小山小学校を卒業していくこととなりました。

3 学期になって、校長先生が代わったり、2 月の記録的な大雪やインフルエンザの流行があったりして、あっという間に 3 学期の終業式を迎えたという感覚でしょう。

そんな日々の積み重ねをさりげなく詩にした 今年の 2 月 28 日 104 歳で亡くなった詩人 まど・みちお さんの「朝がくると」を紹介します。

朝がくると とび起きて ぼくが作ったものでもない 水道で顔をあらうと ぼくが作ったものでもない 洋服をきて ぼくが作ったものでもない ごはんを おしゃおしゃたべる それから ぼくが作ったものでもない 本やノートを ぼくが作ったものでもない ランドセルにつめて せなかにしよって	さて ぼくが作ったものでもない 靴をはくと たったか たったか にかけていく ぼくが作ったものでもない 道路を	ぼくが作ったものでもない 学校へと ああ なんのために	いまに おとなになったら ぼくが作ったものでもない なにかを 作る ことが できる ように なる ために
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------------------------------------

「朝が来るのは当たり前」「身の回りにある電気・水道なども当たり前」のように感じ、普通に生活しています。しかし、実はこうした毎日が「有り難い」ことであることを実感したのが、3 年前の東日本大震災でした。そのことを私たちは忘れてはいけません。

そして、今は、いろいろな道具や設備・施設を使わせてもらっているだけの私たちですが、将来社会のためにいろいろなものを作ったり役立ったりすることができるよう、しっかり勉強していくことが私たちの大事な役割・仕事だと思えます。

さて、卒業・進級にあたり、皆さんに 2 つのことをお話しします。

一つ目は、「卒業・進級には、様々な別れがある」ということです。

「クラスの友達や卒業生・転任される先生方といった人との別れ」

「今まで自分と関係のあった教室・校舎や持ち物・学用品などの物との別れ」

「1 年間過ごした時間やみんなと共に過ごした時間との別れ」

「今までの自分との別れ」です。

これらの中で、「人・物・時間との別れ」は、確実に行われます。しかしながら、「今までの自分との別れ」は、その人自身が意識し変わらないと行うことはできません。これまでの自分を振り返り、「怠けていた自分」「わがままであった自分」など、よくない自分との別れをしっかりと行って、新しい生活でのスタートをしてほしいと思えます。

二つ目は、「春休みの生活について」です。気候は春らしくなり、気持ちも浮かれます。しかし、そういう時に事件・事故は起きやすくなります。自分の命・家族や友達の命や生活を守るため、「交通ルールを守る」「危険な遊び・行為をしない」など、春休みの生活のきまりを意識して、いい休みにしてほしいと思えます。

新年度、4 月 4 日の入学式・始業式に新入生を迎え、元気に小山小学校の 1 年間と卒業生の中学校生活がスタートできることを期待しています。